

授業科目名	開講 年次	開講 学期	講義 種類	単位数	担当教員名
保育指導法	1	通年	演習	2	松永 久子
○授業の到達目標及びテーマ これからの社会を担う子どもたちに求められる資質・能力を育成するために必要な教育、保育の方法、技術、情報機器及び教材の活用に関する基礎的な知識・技能を身に付ける。					
○授業の概要 授業は前期と後期に行い、前期では教育の方法論として幼児教育と保育等の基礎的な理論、遊びを通しての総合的な指導方法など保育を構成する基礎的な要件の理解に取り組み、後期では、発達に応じた保育のありかた、保育の計画、実践、評価等で教育の技術を身に付けると共に情報機器及び教材は、遊びの調査、指導案作成、保育記録作成等において随時活用して基礎的な能力を身に付ける。					
○授業計画 第1回：幼児教育と保育（保育方法とは何か） 第2回：幼児教育と保育（保育方法のポイント） 第3回：子どもの理解から始まる保育方法（保育の出発点としての子ども理解） 第4回：子どもの理解から始まる保育方法（子どもの内面理解を支える発達を見る目） 第5回：環境を生かした保育方法（環境を通しての保育とは） 第6回：環境を生かした保育方法（環境構成の工夫） 第7回：遊びを通しての総合的な指導方法（子どもにとって遊びとは） 第8回：遊びを通しての総合的な指導方法（遊びを通しての総合的な指導とは） 第9回：遊びを通しての総合的な指導方法（遊びが豊かになる援助とは） 第10回：個と集団を生かした保育方法（集団の育ちとは） 第11回：個と集団を生かした保育方法（個の育ちを見つめる） 第12回：子どもにふさわしい園生活と保育形態（幼児期にふさわしい生活） 第13回：子どもにふさわしい園生活と保育形態（保育形態について） 第14回：子どもにふさわしい園生活と保育形態（子どもにふさわしい園生活を考える） 第15回：子どもにふさわしい園生活と保育形態（園生活の実態を理解する） 第16回：発達に応じた保育のありかた（3・4・5歳児の入園当初の保育方法） 第17回：発達に応じた保育のありかた（3・4・5歳児の園生活に慣れてきたときの保育） 第18回：発達に応じた保育のありかた（3・4・5歳児の仲間と協力して生活する時の保育） 第19回：発達に応じた保育のありかた（0・1・2歳児の初めての保育について） 第20回：発達に応じた保育のありかた（0・1・2歳児の幼児が保育園で過ごす一日） 第21回：発達に応じた保育のありかた（0・1・2歳児の幼児期の発達と遊び、環境構成） 第22回：保育の計画・実践・評価（保育の計画、実践評価とは） 第23回：保育の計画・実践・評価（指導計画の実際・指導案の作成） 第24回：保育の計画・実践・評価（部分実習指導案の作成） 第25回：保育の計画・実践・評価（保育の記録について）					

第26回：保育の計画・実践・評価（保育の振り返りと自己評価） 第27回：家庭・地域との連携を生かした保育（家庭との連携が生かされる保育） 第28回：家庭・地域との連携を生かした保育（地域との連携が生かされる保育） 第29回：配慮を要する子どもへの保育方法（ちょっと気になる子どもへの保育の実際） 第30回：まとめ（保育者の成長と省察・研修） 定期試験
○テキスト 「保育方法・指導法」 著者：大豆生田 啓友 他 ミネルヴァ書房 「幼稚園教育要領解説」（最新版）文部科学省．フレーベル館 「保育所保育指針解説」（最新版）厚生労働省．フレーベル館 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（最新版）内閣府・文部科学省・厚生労働省．フレーベル館
○参考書・参考資料等 なし
○学生に対する評価 授業態度（10％）・提出物（10％）・試験（80％）